

# 医学研究に関する情報公開および研究協力へのお願い

福井県済生会病院薬剤部では、臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学研究を実施しています。こうした研究では、対象となる方に関して既に存在する試料や情報、あるいは今後の情報や記録などを調査しますが、対象となる方にとって新たな負担や制限が加わることは一切ありません。このような研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。ご自身の情報や試料を研究に使用してほしくないという場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」へご照会ください。研究への参加を希望されない場合、研究結果の公表前であれば、研究期間内にご連絡いただいた時点より対象から除外いたします。なお研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありませんのでご安心ください。

【研究課題名】婦人科手術で硬膜外麻酔を使用している患者に対してオンダンセトロン注の術後悪心嘔吐の効果と術翌日の食事摂取状況への影響について検討

【研究期間】福井県済生会病院 臨床研究審査委員会承認日～2024年3月31日

【研究の目的】全身麻酔の手術による吐き気、嘔吐を軽くするために新たに採用したオンダンセトロン注の効果を確認。

【研究の内容】

1. 研究の対象となる方 全身麻酔、硬膜外麻酔で婦人科手術を受けた患者様で、2021年4月1日から、2022年3月31日の間に、薬剤師により Apfel score（手術による吐き気、嘔吐の危険性を推測する評価）の確認がされた方
2. 研究に用いる試料・情報  
年齢、性別、体重、手術時間、診断名、手術中のオンダンセトロン注投与の有無、硬膜外麻酔投与の有無、術後翌日の食事内容とその主食、副食の食事摂取量、摂取カロリー、喫煙歴、術後の吐き気、嘔吐の有無、乗り物酔いの有無、手術後に使った吐き気止めの有無とその薬の名前、硬膜外麻酔の減量中断の有無

3. 研究の方法

電子カルテを用いて過去の情報を確認して調査。婦人科手術をした患者様のデータを抽出し、手術内容、全身麻酔、硬膜外麻酔の有無を確認。そして、薬剤師が手術前に関わり Apfel score について評価できている患者様をさらに抽出する。その患者様のデータをもとに Apfel score の該当項目数を確認、手術後の吐き気等の有無と使用した吐き気止めの薬、手術翌日の食事摂取量、摂取カロリーを確認。オンダンセトロン注を投与できた患者様と当時適応外で採用できなかった患者様のデータを比較して、新たに保険診療が可能になって採用したオンダンセトロン注の投与が意味あるかどうかを比較して検討を行う。

【当院における研究責任者】

福井県済生会病院 薬剤部 堀田栄治 薬剤師（主任）

【本研究に関する問い合わせ窓口】

○問い合わせ窓口

〒918-8503

福井県福井市和田中町舟橋 7-1 福井県済生会病院 薬剤部 堀田栄治

電話：0776-23-1111（代表）